

不快な症状 気軽に相談を

国立病院 16日から「口の痛み・違和感外来」開設



「口の痛み・違和感外来」を担当する三河洋平
歯科医師

国立病院機構函館病院(川原町18、加藤元嗣院長)は16日から、歯科口腔外科内に「口の痛み・違和感外来」を新設する。原因不明の口中の痛みや違和感など、不快な症状を解消するためさまざまな視点から病変をさぐり、適切な治療につなげる。

同院は、化学療法や放射線療法などがん治療に伴う口腔ケアの重要性から、2015年11月に歯科口腔外科を開設。

新たに加わった「口の痛み・違和感外来」は「舌がヒリヒリする」や「口の中になべねバ・ザラザラした違和感がある」「歯科治療終了後も常に歯やあごの骨が痛い」など原因が分からず慢性的な症状が続いている人を対象に総合的な判断を行う。担当する三河洋平歯科医師は「年齢が高くなるにつれて、このような症状が出やすくなつてくる。

診察日は第1、3火曜の午後1時～同3時半。初診

薬の副作用や何かしら別の病気が隠れていたり、精神的な疾患などが関わっている場合もある」と話す。

検査は、レントゲンのほか、粘膜異常の確認、口腔の細菌や血液検査など、症状に合わせて精査し、歯科心身症に対しては薬物療法や認知行動療法を用いた治療で症状の改善を目指す。

三河医師は「口の中専門の外来は少なく、口の中に異常な感じがある方は気軽に相談に来てほしい」と話している。

のみ電話で予約。予約は同院(0138・51・6281)へ。